

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和3年度対象)

令和4年9月

東庄町教育委員会

教育委員会

1. 教育委員会の会議

(1) 定例教育委員会 12回開催

各種委員の委嘱・任命、条例・規則・要綱の制定・改廃、行事の後援・共催承認、教科書の採択、就学指導候補者の承認、教育費予算の同意、幼稚園長・社会教育指導員・家庭教育指導員・教育支援センター指導員の任命、学校医等の委嘱、要保護及び準要保護児童生徒の認定、幼稚園に関すること、教育関係施設改修状況、社会教育計画（案）並びに生涯学習・公民館・図書館主催教室、講座（案）等について審議した。

(2) 臨時教育委員会 1回開催（3月10日）

県費負担教職員の任免その他進退に関する内申を審議した。

2. 教育委員の学校訪問

教育委員は独自に小中学校を訪問し、必要に応じて定例教育委員会で報告、協議を行った。また、教育委員学校施設訪問を10月19日に実施し、こじゅりんこども園及び東庄小学校並びに東庄中学校の改修・修繕の必要な箇所を精査し、次年度の予算要求を審議した。

II 学校教育

1. 教育施策

- こども園や小中学校での教育を通して学んだことを豊かにしていくことができる「生きる力」の育成及び社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成を図る。
- 子どもたちが主体的に学ぶことのできる環境を整備する。
- 「学校・家庭・地域社会」がより一層緊密に連携し、本町に根付いた特色ある学校づくりを進める。
- こども園・小中学校の校種間の連携を重視し、連続性のある一体教育を目指す。

(1) 教育内容の充実

- ① 情報化やグローバル化など、急激な社会的変化に対応するために必要な知識や力を身につけることのできる教育を推進する。
- ② 総合学習において、地域との連携を強化し、本町の良さを実感できる教育活動を推進する。
- ③ 子どもたちの「知・徳・体」の向上を図り、個性や能力を引き出していくために、アクティブ・ラーニングなどに取り組み、主体的に学ぶことのできる教育を推進する。
- ④ 地域の農産物に対する理解と関心を高め、よい食習慣や食生活の知恵を身につけるために、食育の推進に努める。
- ⑤ 障害のある児童・生徒に対し、一人ひとりに応じた指導や支援（特別支援教育）のために学習支援員を充実するのに加え、障害のある児童と障害のない児童が可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を検討する。
- ⑥ 選挙年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、学校教育において、政治的中立を確保しつつ、主権者教育を推進する。
- ⑦ 小学校統合に伴い、教育は地域全体で取り組むものという意識のもと、ミニ集会や学校公開を積極的に行うなど「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携しながら地域一体となった教育の実現を図る。

(2) 教育環境の整備

- ① ICT機器を活用した授業を展開するための環境整備を行う。
- ② 老朽化した各施設の改修を進める。

2. 令和3年度の重点

- (1) 千葉県教育振興基本計画をベースに教育振興を図る。
- (2) 指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学

力をつける。

- (3) 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力の向上を図る。
- (4) 早寝、早起き、朝ご飯、外遊びの励行により強靱な健康・体力を培う。
- (5) こども園と小学校、小学校と中学校の連携を強化し、交流活動をより多く取り入れる。
- (6) 地域の教育力を生かす。(地域の歴史、伝統文化、工芸、音楽、スポーツ、栽培、読み聞かせ等)
- (7) 子どもの表現力・コミュニケーション能力の一層の向上を図る。
- (8) 読書を励行し「読書好きな子ども」を育てる。
- (9) 安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成する。
- (10) 新型コロナウイルス感染予防対策による対応を行う。

3. 学校教育の振興

(1) こども園・学校規模

令和3年5月1日現在

校(園)名	児童生徒数	住 所	校(園)長名	職員数
こじゅりん こども園	62	笹川い4713-29	関口喜代美	9
東庄小学校	532	笹川い4713-2	菅谷 忠由	36
東庄中学校	316	青馬1752-1	石橋 宏克	26

(2) 教育相談

奇数月、第2水曜日の13:30~16:00に実施したが、相談はなかった。その他として、こども園・小学校・中学校を通しての相談は、随時相談を受付けた。

(3) 東庄町長期欠席児童生徒対策委員会

東庄町長期欠席児童生徒対策委員会委員の異動があったため、4月1日に2人の委員の委嘱を行った。東庄町長期欠席児童生徒対策委員会を7月26

日に開催し、長期欠席児童生徒の指導・助言、防止対策等について審議した。

(4) 東庄町教育支援委員会

東庄町教育支援委員の異動があったため、5月1日に12人、10月28日に2人の委員の委嘱を行った。委員会を11月25日に開催し、心身に障害を持つ児童生徒の継続的な教育支援等について審議した。

(5) 教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議

教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議を2月25日に開催し、要保護及び準要保護児童生徒の認定等について協議した。

(6) 就学援助及び奨励事業

・要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

小学校	要保護児童	0人	
	準要保護児童	11人	868,874円
中学校	要保護生徒	0人	
	準要保護生徒	2人	310,798円

・特別支援教育就学奨励費

小学校	11人	362,901円
中学校	2人	113,671円

(7) 奨学資金利子補給事業

23件	対象融資額	24,493,678円
	利子補給額	360,968円

(8) 奨学基金事業

奨学生	2人	奨学金	1,500,000円
-----	----	-----	------------

(9) 補助金の交付

東庄町教育研究協議会事業	250,000円
--------------	----------

東庄中学校生徒通学用ヘルメット購入事業 135,545円

東庄中学校社会体験学習事業 135,000円

地域学校安全推進事業 100,000円

(10) 給食費助成事業

給食費助成事業（小学校） 24,074,172円

給食費助成事業（中学校） 16,053,978円

給食費助成事業（こども園） 2,970,000円

(11) 主な工事関係契約

工事名	工事場所	契約金額 (円)
トイレ改修工事 (令和2年度から繰越)	東庄小学校	13,360,600
手洗流し台設置工事 (令和2年度から繰越)	東庄小学校	1,676,400
トイレ改修工事 (令和2年度から繰越)	東庄中学校	9,497,400
東庄小学校プール槽補修工事	東庄小学校	10,689,800
東庄中学校2階ホール 天井照明改修工事	東庄中学校	669,020
東庄小学校配膳室改修工事	東庄小学校	683,863
東庄中学校2階通路等 遮光工事	東庄中学校	741,431
東庄中学校床張替工事	東庄中学校	1,469,600
東庄中学校高压引込 ケーブル更新工事	東庄中学校	1,348,600
東庄小学校運動場整備工事	東庄小学校	24,750,000
東庄中学校普通教室棟 外階段塗装等工事	東庄中学校	9,130,000
東庄小学校連絡通路 水切り交換工事	東庄小学校	660,000
東庄中学校屋内運動場 防球ネット修繕工事	東庄中学校	737,000
東庄小学校プール排水設備 改修工事	東庄小学校	1,540,000

東庄中学校駐輪場 屋根復旧工事	東庄中学校	583,000
--------------------	-------	---------

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>教育施策については、千葉県教育委員会が提示した「第3期千葉県教育振興基本計画」を踏まえて実施した。</p> <p>指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける取組を行った。教育事務所の指導室訪問、管理課訪問、各校からの要請等に応じたの学校訪問を実施し、教育課程の実施状況を確認し、協議・指導を通して学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり、学校づくりを図った。</p> <p>また、教職員の勤務の状況についても確認し、不祥事根絶、働き方改革への取組、ストレスチェックの実施等を含め、適切なサービス、職場環境の改善が行われるように指導を行った。</p> <p>県教育委員会や県総合教育センターが主催する各種の研修会は、新型コロナウイルス感染症のため中止となったもの以外の、オンラインで開催された研修には積極的に参加を促し、教職員の資質・向上を図った。</p> <p>増加傾向である不登校児童生徒に対し、集団生活への適応力の向上を図り、在籍する学校へ自信を持って復帰できるよう、関係機関との連携を密にし、支援の方向性について共通理解を図っている。また、県から派遣されている中学校のスクールカウンセラーを町でも雇用し、小学校に配置して相談体制の一層の充実・強化を図った。</p> <p>児童生徒が生命について理解し、健全で自律した行動がとれるように、保護者を含めた関係者が連携し、児童・生徒・保護者・関係者の意識を高めた。また、いじめ防止等のための基本方針についても、保護者へ周知を図るため小・中学校のホームページに掲載した。</p> <p>計画的な就学指導の実施については、特別支援学校コーディネータを依頼し、幼保・学校・健康福祉課との連携を密にし、早期からの計画的な就学指導を実施し、一人ひとり、適切な就</p>

学指導の実現に努めた。また、特別に支援を要する児童には介助員や学習支援員、言語指導員を配置し、個のニーズに応じた支援を行うことにより、一人ひとりの個性・能力が適切に伸びていけるように配慮した。

小中学校の総合的な学習において東庄町に関する歴史や文化・自然に対する学びを深めた。特に中学校では利根川の現地に赴いて調査活動を行いシンポジウムにおいて自然体験学習の発表を行うなど地域への愛着心を育む教育活動を行った。

小学校外国語及び外国語活動では、実施する時間全てに日本人英語講師を配置し、学級担任を主としながら、児童が外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養えるようにした。また、1～2年生についても外国人講師（ALT）を派遣し発達段階に応じて外国語や外国の文化に親しめるようにした。

読書を励行し「読書好きな子ども」を育てるため、様々なジャンルの書籍を整備し、多くの児童が読書に親しめるようにした。また、小中学校ともに書籍の貸出・返却をパソコンで管理するシステムを導入することによって、効率的な貸出・返却作業となり、多くの児童・生徒が短時間で手続きをとることができた。

安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成するため、各校において危機管理マニュアル等について再度確認し、地震等の緊急時に安全な対応ができるよう避難訓練を定期的実施した。また、県内で発生した小学生が死傷した交通事故を受け、通学路の危険箇所について、前倒しして合同点検を実施し、年度内に対策可能な箇所についての安全対策を実施した。また、通学の利便や安全性を確保するためスクールバスの安全運行を継続して実施することができた。

学校評価アンケートを実施し、保護者の意見を基に小学校統合後の諸課題について洗い出しを行い、今後のより良い学校環境づくりへの検討材料とした。

	<p>こじゅりんこども園については、社会環境の変化等に伴い子育て環境も多様化しているため、園児一人一人の発達の課題に即した指導ができるよう園内研修を実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染予防のため、令和3年6月21日、22日及び令和4年1月20日、22日に東庄中学校を臨時休業とし、令和4年1月19日から21日までの間、こじゅりんこども園を臨時休園とした。</p> <p>これに伴い、小中学校の臨時休業等の際、子どもたちが家庭にいても学習ができるよう、インターネット環境が無い家庭に対しモバイル Wi-Fi ルータを無料で貸出しを行い、全ての児童・生徒が学びを止めない環境を整備した。</p> <p>また、タブレット端末の持ち帰りについても推進を図るとともに、タブレット端末持ち帰りに際してのルールづくりを行い、家庭への周知を行った。</p> <p>加えて、ICT 教育や研修をサポートするため、ICT 支援員を1名配置し、小中学校教職員や児童生徒への教育支援を行った。</p> <p>今後は、校内研修の更なる充実により教職員のスキルアップを図り、ICT 機器を日常的・効果的に活用した学習活動を推進していく。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

Ⅲ 生涯学習

1. 教育施策

- 誰でも生涯学習に参加し、いつでも学ぶことのできる環境づくり
- 多様な価値観にあわせた生涯学習の機会の提供

(1) 生涯学習推進体制の確立

住民のさまざまな学習意欲を満たす各種講座を積極的に開催するとともに、小・中学生の保護者を対象とした子育ての場として、家庭教育学級の充実を図る。また、公民館や図書館の利用促進により、生涯学習を推進する体制を構築する。

(2) 芸術・文化活動の展開

文化協会や自主活動団体による芸術・文化活動を支援するとともに、成果を発表する場を設けることにより、活動の活発化を図る。そして、芸術・文化に関する意識を高揚し、地域文化の育成を進める。

(3) 文化財の保護と活用

文化財の調査・研究を推進し、郷土芸能などの無形民族文化財を維持していくため、後継者育成などの取り組みを進めていく。

文化財の保護と活用を図り、案内板の設置等によりPRを行うとともに、本町の歴史や文化財を次世代に伝承する手段として、観光ボランティアとの協働で史跡等を巡る活動などの取り組みを実施する。

(4) 青少年の健全育成

子どもたちの地域への愛着と誇りを育み、地域社会の一員としての自覚を高めるため、地域学習を推進する。

多くの子どもたちが興味をもって参加できる事業の開催や、スポーツ少年団などの青少年関係団体育成を図り、青少年の健全育成を推進する。

(5) スポーツ・レクリエーションの推進

競技としてのスポーツに取り組む子どもたちのために、スポーツ少年団などへの支援を行うとともに、町内のスポーツ施設や学校体育館などを活動の場として活用できるよう支援する。また、町外からのスポーツ合宿による交流を推進する。

レクリエーションとしてのスポーツについては、住民の健康づくりやコミュニティ醸成など、多様な効果が期待できる意義深いものであることから、関係団体などと連携しながら、誰でも気軽にできる軽スポーツの活動支援やイベント開催などを推進する。

2. 本年度の重点目標

(1) 生涯学習の推進を図る。

青年サークルの充実

障害者青年講座の検討

スポーツ団体の強化

(2) 公民館活動の活性化を図る。

文化事業内容の検討

新しい講座の開設と自主団体の育成

(3) 社会教育施設の活用を図る。

宝くじ文化コンサートの実施

公民館・宮野台運動公園・東城グラウンド・町民体育館・町民神代体育館・町民橋体育館・町民石出体育館・町民東城体育館・スポーツ広場・弓道場の利用促進及び維持管理

(4) 図書館の利用促進を図る。

行政ポイントの付与

図書館だよりの発行

(5) 学校・家庭・地域連携協力推進事業の推進

放課後子供教室推進事業の実施と推進

コジュリン通学合宿の活用

3. 具体的な実践と協議内容

(1) 子どもまつり・各種スポーツ大会・町民運動会・文化祭・コジュリンマラソン大会等への参加促進

ン大会等への参加促進

(2) 各講座における新規利用者の開拓

(3) 団体の自主運営の促進（グラウンドゴルフ大会、小学生の綱引き大会）

(4) 中高生が参加できるイベントや講座等の開催

(5) 社会教育施設の老朽化に伴う整備

(6) 特別支援学校との連携による障害者青年講座の推進

(7) 閉校後の校舎及び敷地の維持・管理（旧橘小学校及び旧東城小学校）

(8) オリンピック・パラリンピックに関する協力と連絡調整

4. 生涯学習の推進

(1) 実施事業

東庄町成人式 公民館 該当者147人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした主な行事

※第46回東庄町文化祭 11月3日 公民館 中止

※コジュリン通学合宿 公民館 中止

(2) 東庄町文化協会

定期総会 5月28日 公民館

会報「東庄文化」第37号 5月発行（4,700部）

文化のつどい 6月27日 公民館 中止

(3) 東庄町子ども会育成連合会

定期総会 4月8日 公民館

子どもまつり 5月9日 公民館 中止

子どもスポーツ大会 10月16日 東庄小学校体育館 中止

(4) 東庄町杉の子サークル

総会 6月13日 書面会議

クリスマス会 12月12日 公民館 参加者36人

(5) 東庄町青少年相談員連絡協議会

定期総会 4月18日 公民館

環境美化活動 6月27日 町児童館 中止

青少年つどい香取地区大会の代替事業として「メッセージボード作成」

1月22日

青少年のつどいPOPコンテスト表彰式 3月3日 東庄小学校 3月

24日 東庄中学校 応募者351人

(6) 東庄町社会教育委員会議

東庄町社会教育委員会議委員の異動があったため、4月・5月に3人の委
嘱を行った。9月15日に任期満了による15人の委嘱を行った。令和3年
11月24日に第1回社会教育委員会議を開催。その後2月8日の第2回社
会教育委員会議は、書面会議で、社会教育全般について審議した。

(7) 町補助金の交付

東庄町文化協会事業 250,000円

東庄町PTA連絡協議会事業 100,000円

単位子ども会育成費(10団体) 150,000円

東庄町青少年相談員連絡協議会 207,366円

東庄町杉の子サークル育成会事業 60,000円

※東庄町子ども会育成連合会事業 辞退

(8) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ等対策特別措置法に基づく要請により感染症対策を講じ、実施できる事業を実施した。

(9) 主な工事関係契約

工事名	工事場所	契約金額 (円)	施工業者
公民館神代分館上水道給水接続工事	公民館神代分館	1,805,000	(株) 千代田工業
公民館大ホール舞台屋上・大ホール側玄関屋上防水及び雨水ドレン改修工事	公民館	2,112,000	(株) 東庄建商
東庄町民体育館高天井照明器具交換工事	町民体育館	11,550,000	(株) 堀内住設
東庄町スポーツ広場整備工事	スポーツ広場	1,109,200	柏屋土建 (有)
東庄町スポーツ広場フェンス設置工事	スポーツ広場	2,750,000	柏屋土建 (有)
東庄町スポーツ広場休憩所設置工事	スポーツ広場	1,903,000	柏屋土建 (有)
東庄町民石出体育館屋根改修工事	町民石出体育館	41,329,200	岡田土建 (株)
東庄町民石出体育館屋上防水塗装工事	町民石出体育館	665,500	岡田土建 (株)

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>青少年の健全育成を図るための事業を展開し、多くの参加者・応募者があった。新型コロナウイルス感染症対策により多くの事業を中止したが、内容を変更して、工夫した事業を実施した。特に青少年のつどいは昨年に引き続き、スポーツ大会を変更して、中学生と小学生を対象としたPOPコンテストを開催し、多くの応募作品を集めた。今後も、東庄町子ども会育成連合会、東庄町杉の子サークル・杉の子サークル育成会、東庄町青少年相談員連絡協議会等の団体が連携を図る場となるよう</p>

	<p>思案するとともに、その活動を支援する必要がある。</p> <p>「ふれあいまつり」の中止により第46回東庄町文化祭も中止となった。文化協会の事業の開催が困難な状況で、団体紹介のパンフレットを発行し、東庄町文化協会加盟を紹介することによる会員の加入と芸術・文化活動の推進が図られた。今後も、文化協会等の団体育成を図る必要がある。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

5. 東庄町公民館の運営

(1) 主催事業

〔放課後子ども教室 8講座〕

- ① 子ども書道教室 36回（第2・3・4土曜日） 憩いの里・公民館
受講者69人
- ② 子ども絵画教室 6回 公民館 受講者44人
- ③ 夏休み映画会 12回 公民館 延参加者 883人
- ④ ボッチャ教室 1回 町民体育館 受講者55人
- ⑤ 将棋教室 3回 公民館 受講者32人
- ⑥ けん玉教室 2回 公民館 受講者16人
- ⑦ ハーバリウム教室 1回 公民館 受講者20人
- ⑧ 郷土芸能教室 10回 公民館 受講者4人

〔成人学級 8講座〕

- ① ペン字&習字教室 11回 公民館 受講者15人
- ② 英会話教室 12回 公民館 受講者8人
- ③ パソコン&スマホ講座 6回 公民館 受講者15人
- ④ 初心者向け料理教室 6回 公民館 受講者11人
- ⑤ 歴史教室 6回 公民館 受講者32人

- ⑥ 和歌の初心者講座 10回 公民館 受講者15人
- ⑦ 高齢者教室 ことぶき大学 9回 受講者124人
- ⑧ 家庭教育学級 中学校1学級 全1回 受講者106人

※小学校1学級中止

公民館まつり 3月6日 作品展示

※芸能発表及び玉川奈々福浪曲会は新型コロナウイルス感染症対策により中止

(2) 公民館利用状況

東庄町公民館（本館）の利用人数は、14,949人（1,105団体）で、神代分館の利用人数は1,283人、石出分館の利用人数は657人となり、3館合計は16,889人、月平均1,407人であった。

(3) 東庄町公民館運営審議会

町公民館運営審議会委員の異動があったため、4月・5月に3人の委嘱を行った。9月15日に任期満了による15人の委嘱を行った。令和3年11月24日に第1回町公民館運営審議会を開催。その後2月8日の第2回町公民館運営審議会は、書面会議で、公民館事業等について審議した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じ、公民館利用を制限した。

- ① 年間を通して、公民館利用定員を制限
- ② 令和3年8月2日～9月30日まで 公民館夜間休館

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	公民館主催講座は、子どもから高齢者まで対象を幅広く実施し、それぞれ意欲的な参加があった。特に、学校・家庭・地域

	<p>連携推進事業として、子どもの要望に沿った「放課後子ども教室」を8講座開催。小学校と隣接する公民館の立地条件もあり、放課後児童クラブと連携が取りやすく、多数の参加があった。</p> <p>神代分館は陶芸施設として、石出分館は図書の出し入れを行った。公民館本館と2分館の利用数は、新型コロナウイルス感染症対策のため、公民館の開館時間の短縮もあったので、例年より減少した。</p> <p>公民館定期利用団体は活発に活動し、公民館まつりで日頃の学習成果を発表することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症予防のため一部の定期利用団体、お話しボランティアや料理の団体等は活動ができなかった。また、公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、芸能発表・体験等を中止し、規模を縮小した展示のみの開催となった。</p> <p>多数を対象とする事業は実施できなかったが、千葉県の新型コロナウイルス感染症対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じて、少人数で実施できる公民館主催講座等を実施した。</p> <p>今後、分館を含めそれぞれの公民館の特性を生かした、新しい主催講座等を開設するなど、新規利用者や青年層の利用促進等多様なニーズに対応した取組と、団体等の育成に努めることが必要である。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

6. 東庄町図書館の運営

(1) 実施事業

子ども読書週間スタンプラリー 4月15日～5月15日 参加者 53人

秋の読書スタンプラリー 10月15日～11月13日 参加者 127人

青少年のつどいPOPコンテスト表彰式(青少年相談員共催) 3月3日

東庄小学校 3月24日 東庄中学校 応募者 351人

図書館だより発行 2021年4月号、7月号、10月号、2022年1

月号、3月号（年5回）

(2) 図書館利用状況

図書貸出し状況

児童貸出 5,411冊、一般貸出 12,138冊

団体貸出 337冊、相互協力冊数 81冊（合計17,967冊）

利用者数 7,719人

行政ポイント実績					
※図書館の本を返却時、コジュリンカードへ1冊5ポイント付与					
月	冊数	ポイント	月	冊数	ポイント
4	1,279	6,395	10	1,416	7,080
5	1,317	6,585	11	1,496	7,480
6	1,295	6,475	12	1,129	5,645
7	1,350	6,750	1	1,236	6,180
8	1,523	7,615	2	1,233	6,165
9	1,288	6,440	3	1,248	6,240

(3) 東庄町図書館協議会

町図書館協議会委員の異動があったため、4月・5月に3人の委嘱を行った。9月15日に任期満了による15人の委嘱を行った。令和3年11月24日に第1回図書館協議会を開催。その後2月8日の第2回図書館協議会は、書面会議で、図書館事業等について審議した。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策規模

千葉県の新規インフルエンザ等対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じ、図書館利用を制限した。

令和3年8月2日～9月30日まで 館内利用制限30分以内

(5) 図書購入費

図書館図書購入費は1,459,219円で、698冊の図書とDVD
17本を購入した。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>東庄町図書館と石出分館の2館で図書の貸出しを行っており、利用者の利便が図られている。図書購入予算も余すことなく支出し、書籍の充実を図った。また、子ども読書週間及び秋の読書週間にあわせて「読書スタンプラリー」を実施し、返却者へのコジュリンポイントの発行など利用者がより読書に楽しめる取り組みを行った。県内の図書館との貸出、借用を行う相互協力も充実してきている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策により、4月の子ども読書週間「たんぽぽの会によるおはなし会」は中止となった。今後、図書館だよりの発行を通して、子どもの読書活動推進や利用者拡大の取組を継続していく必要がある。</p>

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
C 課題が生じ目標達成は困難である

7. 文化財の保護

(1) 実施事業

歴史教室 6回 公民館 参加者32人

和歌初心者講座（常縁集で学ぶ） 全10回 参加者15人

文化財案内看板（23か所）状況確認及び清掃 11月16日～25日

須賀山城及び森山城跡看板設置

東庄町指定文化財「常縁集」複製版印刷製本（A5版） 300冊

岐阜県郡上市文化交流事業（郡上東氏800年記念） 記念植樹として、

郡上市へオオムラサキ2本贈呈 令和3年9月16日

(2) 東庄町文化財審議会

町文化財審議会を11月29日に開催し、文化財案内看板等について審議した。

(3) 補助金の交付

東庄郷土史研究会事業 100,000円

※笹川の神楽 辞退

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>郷土の歴史・文化財等を学ぶ歴史教室を開催し、県内の歴史や文化遺産への関心と理解を深め、伝統に対する誇りと郷土愛の精神を養うことができた。</p> <p>また、郡上東氏800年記念・文化交流事業として、郡上市へ記念植樹としてオオムラサキ2本を贈呈。東氏ゆかりの町指定文化財「常縁集」の複製本を発行し、主催講座として複製本をテキストとした「和歌初心者講座」を全10回開催。東氏の歴史への理解を深めた。</p> <p>郷土史研究会のご協力により公民館郷土資料展示室に於いて、「旧小学校の校旗・校歌額」を展示し、資料が広く一般に公開され、周知することができた。</p> <p>今後も、引き続き文化財の調査と保護体制の充実を図る必要がある。</p>

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる

C 課題が生じ目標達成は困難である

8. スポーツ・レクリエーションの推進

(1) 大会や行事、主催教室の実施

家からウォークラリー 5月23日 町内 444人

町民ゴルフ大会 5月27日 東庄ゴルフ倶楽部 35人

ヘルスバレーボール大会 6月20日 町民体育館 5チーム・57人

町民体育大会（弓道） 7月4日 町弓道場

火おこし・ボッチャ体験会 8月16日 公民館 16人

2021コジュリンマラソン大会 12月5日 町民スポーツ広場
293人

〔主催教室〕

① らくらくフィットネス教室 11回 公民館 32人

② らくらくフィットネス橋教室 13回 憩いの里 16人

③ 健康体操教室 10回 公民館 17人

新型コロナウイルス感染症対策のため中止にした主な行事

※町民運動会、スポーツ少年団交流会、グラウンドゴルフ大会

（2）社会体育施設利用状況

宮野台運動公園野球場 利用人数 3,316人（利用回数221回）

宮野台運動公園テニスコート 利用人数 1,968人（354回）

東城グラウンド 利用人数 3,733人（126回）

町民体育館 利用人数 8,089人（917回）

神代体育館 利用人数 1,918人（283回）

橋体育館 利用人数 6,541人（367回）

石出体育館 利用人数 4,462人（363回）

東城体育館 利用人数 1,727人（210回）

スポーツ広場グラウンドゴルフ 利用人数 3,845人（371回）

スポーツ広場弓道場 利用人数 802人（利用日数271日）

（3）東庄町体育協会

定期総会 4月28日 公民館

町民体育大会（クレール射撃） 銚子射撃場

町民体育大会（弓道） 町民スポーツ広場

郡民体育大会及び県民体育大会中止

(4) 東庄町スポーツ推進委員会

第1回町スポーツ推進委員会を4月16日に開催し、以降5月12日、6月11日、8月6日、3月19日の5回の会議で社会体育の指導・計画等について審議した。

(5) 東庄町スポーツ推進審議会

第1回町スポーツ推進審議会を7月19日に開催し、第59回東庄町町民運動会実施計画及びコジュリンマラソン大会の実施について審議した。

その後、2月8日の第2回町スポーツ推進審議会は、書面会議で、社会体育事業等について審議した。

(6) 東庄町スポーツ少年団

※スポーツ教室 新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止

(7) 町補助金の交付

東庄町体育協会事業 500,000円

(8) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

千葉県の新規インフルエンザ対策特別措置法に基づく要請による感染症対策を講じ、体育施設利用を制限した。

① 令和3年8月2日～9月30日まで 体育施設夜間休館

(午後7時まで利用可能)

② 令和3年4月21日～4月25日まで 町民橋体育館と東庄小学校学校開放施設利用中止

③ 令和3年8月1日～9月30日まで 学校開放施設利用中止

④ 令和4年2月1日～3月31日まで 学校開放施設利用中止

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>各種大会・行事等を開催し、スポーツ活動の推進、普及に取り組んでいる。また、健康づくりの3教室はどれも意欲的な参加があった。</p> <p>コジュリンマラソン大会については、新型コロナウイルス感染症予防対策により、町内の参加者に限定して、規模を縮小して開催した。</p> <p>町民運動会については、昨年度に続き、感染症拡大の影響で中止となり、町民の親睦と交流の場が失われた。</p> <p>5施設と増えた町民体育館の利用促進のために、町民へ運動の場を提供する予約システムの充実を図り、利用者の利便性や利用促進を促す。</p> <p>また、スポーツ少年団等にスポーツ施設使用料の減免を行い、利用促進と青少年の健全育成活動の支援を図る。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症予防での厳しい状況下ではあるが、スポーツ活動の推進、普及に向けて、感染症対策を講じ、各種大会・行事等についても充実を図る必要がある。</p>

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる

C 課題が生じ目標達成は困難である

IV

学校給食センター

新学校給食センターは、令和2年9月から稼働し、給食調理業務や配膳業務等を、給食施設の専門的な知識と技術を持つ民間企業へ委託した。中学校敷地内に学校給食センターを建設したことで、こども園・小学校・中学校への配送時間も大幅に短縮された。これまでの弁当箱方式の給食から食缶方式になったため、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままに、子どもたちのところへ届けられるようになった。施設においても、最新の設備機器とフルドライシステムに対応した厨房機器を配置し、快適な作業環境と食材が交差しない衛生的な作業動線で、いままで以上に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。

また、平成30年4月より、「教育の充実及び子育て支援」の一環として、園児・児童・生徒については、学校給食費の全額助成制度が開始されている。

新学校給食センターにおいても、学校給食用物資の調達や学校給食費の徴収、その他必要な事務を行った。

1. 学校給食センターの運営

(1) 主な取り組み

学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食従事者の衛生管理と健康管理を徹底し、安心安全な給食を提供できた。

教育の一環である学校給食を「生きた教材」として活用し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせることを目的として実施した。

養豚経営者協議会より寄贈された町の特産品である豚肉を使った献立や、香取地区の特産品を使った1市3町統一献立を実施した。その献立についての資料を作成し各学級で掲示してもらったり、給食時間の放送資料で地域の食材を知らせたりすることで、地産地消に対する児童生徒の興味関心を高めることができた。

栄養所要量は文部科学省の「学校給食摂取基準」の一部改正に伴い、ビタミンCと食物繊維の値を変更した。

(2) 学校給食期間

1学期 4月 7日から 7月19日

2学期 9月 2日から12月22日

3学期 1月 7日から 3月23日

(3) こども園・小・中学校の給食数・日数

月	給食数(食)	給食日数	一日平均食数
4月	15,521	17	913
5月	18,367	18	1,020
6月	20,679	21	985
7月	13,237	13	1,018
9月	17,336	19	912
10月	20,075	20	1,004
11月	20,484	20	1,024
12月	15,399	15	1,027
1月	15,355	16	960
2月	17,987	18	999
3月	12,790	16	799
合計	187,230	193	970

(4) 学校給食費

こども園園児	日額260円	月額4,500円
小学校児童	日額260円	月額4,500円
中学校生徒	日額289円	月額5,000円

(5) 東庄町学校給食センター運営委員会

東庄町学校給食センター運営委員会を7月28日、2月25日の2回、書面会議で、学校給食センターの運営状況・運営計画等について審議した。

(6) 給食主任者会議

給食主任者会議を7月19日、3月23日の2回開催し、各種書類の説明や、こども園小中学校からの意見や要望を聞いた。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる。
評価所見	<p>令和2年9月から新学校給食センターが稼働し、最新設備の中で、調理業務等を専門知識・技術を持つ民間業者に委託し、食缶方式により、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままに、子どもたちのところへ届けられるようになり、いままで以上に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。</p> <p>学校給食は、生きた教材として活用し、地産地消(千産千消)による献立づくりの推進を図っている。</p> <p>食事内容は、必要とされる栄養量が満たされており、衛生的に安全で量的にも満足されるものが提供されている。</p> <p>2回の東庄町学校給食センター運営委員会において、運営状況・運営計画等について審議した。</p> <p>今後も引き続き、施設の維持管理及び衛生管理を徹底し、安心安全な給食の提供に努めていく。</p>

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
C 課題が生じ目標達成は困難である